

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)秦野市鶴巻北介護施設新築工事	階数	地上3F
建設地	秦野市鶴巻北2-1176-4外	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	120 人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年4月 予定	評価の実施日	2015年9月15日
敷地面積	1,925 m ²	作成者	株式会社 柏設計
建築面積	811 m ²	確認日	2015年9月15日
延床面積	2,228 m ²	確認者	株式会社 柏設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

環境品質 G (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%
②建築物の取組み: 87%
③上記+②以外の: 87%
④上記+: 87%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
Q1 室内環境	十分な自然採光・自然換気が行える窓を計画し室内環境の向上に配慮している 内装材にはF☆☆☆☆を採用し汚染物質の発生を最小化している	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	LED照明を採用し省エネルギー化に努めている	Q3 室外環境(敷地内)
		LR2 資源・マテリアル
		LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される